

人事・労務、産業医・産業保健スタッフ、弁護士・法学者、社労士…

垣根を超えて多職種が集い、不幸な事案の未然防止と適切な事後解決を議論!

日本産業保健法学会 第4回学術大会

統一テーマ

産業保健格差と法

～時代を跨いだバックランナー対策を考える～

▶現地開催・ライブ配信

▶オンデマンド配信

日程

2024年9月21日(土)・22日(日) 2024年10月1日(火)～31日(木)

開催方式

ハイブリッド開催 (現地開催、ライブ配信、およびオンデマンド配信)

会場

大田区産業プラザPiO 〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20 *お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分 JR京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分

大会長等

大会長：吉田 肇 弁護士法人天満法律事務所 所長・弁護士、
元京都大学法科大学院客員教授
副大会長：山田 省三 弁護士(東京弁護士会)、中央大学名誉教授
事務局長：神田橋 宏治 合同会社DB-SeeD代表・産業医

参加登録
受付中

一次登録：9月4日まで
二次登録：9月5日～
10月28日

主なセッション

- メインシンポジウム：中小企業の産業保健と法～現状と展望・解決策の模索
- 働き方改革の到達点・産業保健法上の課題と展望(シンポジウム等)
 - 大都市と地方都市／大企業と中小企業における労働環境の格差と産業保健の課題
 - 働き方改革：産業医・産業保健機能の強化の現状と課題
 - これからの労働時間法制の在り方と健康確保～労働のオンとオフの境界線～
 - 安全配慮義務と職場のメンタルヘルスに関する現代的課題
 - リモートワーク(テレワーク)の産業保健法上の課題
 - 副業・兼業における健康管理と法
 - 治療と仕事の両立支援の課題と法
 - 新しい化学物質管理と事業者責任
 - 労働政策の来し方行く末(産業保健の未来は)
 - その他(「多職種が安全衛生(予防)業務で豊かに暮らすには」、「自然災害と産業保健法」等)
- 関連学会等との連携企画(シンポジウム)
 - 日本産業精神保健学会
 - 日本産業ストレス学会
 - 日本職業・災害医学会
 - 全国社会保険労務士会連合会
 - JAOHL弁護士連携委員会及び大阪弁護士会労働問題特別委員会との共同学習会
 - 日本プライマリ・ケア連合学会
- 模擬裁判「発達障害の疑いがある者の適応障害による休復職」
- 教育講演「労働行政の動向」(厚労省)



大会の詳細および参加登録はこちらから

大会ホームページ

<https://jaohl.info>



【問合せ先】 日本産業保健法学会第4回学術大会事務局
Mail : jaohltaikai.information@gmail.com

一般社団法人 日本産業保健法学会